

# 尾上 寛弥/Onoe Hiroya

Contact: <https://onoe.dev/contact>

## 職歴

### 株式会社マネーフォワード (京都)

2024年4月 - 現在 — Platform Engineer (内定者インターン)  
サービス基盤本部 インフラ部 Platformグループ

オンプレミス基盤の構築運用 (Ansible, Terraform, Ubuntu)

2023年4月 - 2024年3月 — Product SRE (インターン)  
マネーフォワードビジネスカンパニー クラウドERP本部 会計Plus開発部 Platformグループ

複数マイクロサービスで構成されるアプリケーションをECS基盤からEKS基盤へ移行 (Kubernetes, Terraform, Go, Ruby, AWS, MySQL)。  
モニタリング・アラートの整備 (Kotlin, Datadog, Rollbar)。

### 株式会社リクルート (東京) — SRE (インターン)

2023年8月 - 2023年9月

GitHub Actions Self-Hosted Runnerによる負荷試験自動化の設計開発。  
(Kubernetes, Terraform, AWS, MySQL, Scala)  
Blog: <https://onoe.dev/blog/recruit-intern>

### クックパッド株式会社 (横浜) — インフラエンジニア (インターン)

2022年9月 - 2022年10月

パフォーマンスチューニング・DBアップグレード調査・CIの1.4倍高速化。  
(Ruby, MySQL, PostgreSQL, Memcached, AWS, Terraform)

### 株式会社サイバーエージェント (東京) — SRE (インターン)

2022年3月

プレビュー環境を実現するためのKubernetesカスタムコントローラーの開発。  
(Kubernetes, Go)

## 学歴

### 京都大学 大学院情報学研究科 (京都) — 修士 情報学 (取得予定)

2023年4月 - 2025年3月

情報学専攻 通信情報システムコース 岡部研究室 (高機能ネットワーク分野)

### 京都大学 工学部情報学科 (京都) — 学士 工学

2019年4月 - 2023年3月

計算機科学コース 岡部研究室 (高機能ネットワーク分野)

## 論文・会議等

### Protocol-Independent Context Propagation for Sharing Microservices in Multiple Environments — 国際会議 (査読あり)

Hiroya Onoe, Daisuke Kotani, and Yasuo Okabe, 11th IEEE International Conference on Cloud Engineering (IC2E), September 2023.

論文: <https://doi.org/10.1109/IC2E59103.2023.00010>

スライド: <https://onoe.dev/picop-en>

実装レポジトリ: <https://github.com/picop-rd>

### 複数環境でマイクロサービスを共用するためのプロトコル非依存な コンテキスト伝播 — 国内会議 (査読なし)

尾上 寛弥, 小谷 大祐, 岡部 寿男, マルチメディア、分散、協調とモバイル(DICOMO2023) シンポジウム, pp. 544 - 555, 2023年7月.

論文: <http://id.nii.ac.jp/1001/00228000/>

スライド: <https://onoe.dev/picop-ja>

## Website

<https://onoe.dev>

GitHub

[hiroyaonoe](https://github.com/hiroyaonoe)



## スキル

プログラミング言語

Go, Ruby, Python

ツール・ミドルウェア等

Kubernetes, Terraform, AWS,  
Docker, MySQL, Vim

言語

日本語(母国語), 英語

## 受賞歴

ISUCON13 総合13位 学生3位

3人チームで出場。画像の静的ファイル化・キャッシュ・スロークエリの改善などを担当した。694チーム中で総合13位(学生3位)を獲得。

<https://onoe.dev/blog/isucon13>

DeNA短期インターン優勝

3日間の短期インターンにて、チーム対抗でアプリの改修に取り組んだ。React, Goを用いた新機能の設計開発・パフォーマンス改善を担当。4人チームで優勝。

Open Hack U 2020 Online Vol.5  
最優秀賞・Happy Hacking賞

みんなのコード共有SNS

<OmnisCode> の開発に参加。バックエンドの設計開発、Firebaseを使った認証を主に担当した。  
(Go, MySQL, Firebase, etc.)

## 獲得資金・奨学金

情報科学国際交流財団  
研究者海外派遣助成 (25万円)

採択率3.5倍

京都大学 CFプロジェクト  
ニトリChair (月10万円 2年間)

日本学生支援機構  
特に優れた業績による返還免除  
(月8.8万円 2年間)

## 資格

TOEIC L&R 公開テスト 775点

PROGOS B1 High